

ニューサークルだより

①・1月17日(日) 縦走トレ・鶯越駅～再度へ 布引支部 柳 富美恵

昨年知人を通じてヒヨコ登山会を知り、今年1月に幼馴染の友人と二人で入会させて頂くことにしました、まさに卵から飛び出したヨチヨチのヒヨコです。山の知識の全く無い私達ですが、行事予定表やヒヨコの会報など頂き、目を通して「楽しそうな会だな～。早く歩いてみたいな～！」・取りあえず山ガールスタイルから入る?・為に、登山靴やザックなどを買い揃え、デビューに備えていました・。

11月に「小野の鴨池周回自然歩道を歩く」布引支部の行事や、ニューサークルの皆さんと歩いた「紅葉の再度山」などの**体験登山**を経験させて頂いた後入会。そして、初めての本格的デビューが1月10日(日)「アイゼンウォーク」と称したトレーニング会に参加。摩耶山に通じる山寺尾根という大変急な登山道を、アイゼン装着に四苦八苦しながら登ったのでした! 初心者の二人には辛く、**厳しいデビュー**でしたが、今度は憧れの六甲山縦走路を歩いてみたいな!・なんて、早くもヒヨコの山ガール気分になったのでした!!



縦走コース中にある天王吊橋を渡る筆者/左前

そんな思いをニューサークルのリーダーでいらっしゃる渡田さんに通じたのか、1週間後に歩くことになりました!

1月17日(日) 神鉄鶯越駅集合。6人の先輩ニューサークルメンバーさんと吉野会長が参加させて頂き、3人の新人メンバー(益谷さんと

私達二人)をサポートして下さいという、何とも有難い山歩きです!!

コースは、鶯越駅から縦走コース中一番シンドイとされている菊水山と鍋蓋山の上下り体験が目的でした。ところが、菊水山の麓まで来たら、吉野会長が「貴重な体験?させてあげるわ!」と、正規のコースを行かずにマイナーなコースに切り替えされたのでした!! (チョー不安!!) そこに入るなり、背丈以上に伸びた笹や雑木、倒木や道なき道など、いわゆる「**藪コギ**」を強いられるコースでした! 兎に角、前の方にくっついていなければ、どこに迷い込むか分かりません!! イノシシの通り道としか言いようのない通路?を悪戦苦闘しながら捕捉前進すること1時間。初めての**菊水山登山**の体験でした!!・



鍋蓋山への急な岩場登り・がんばってま〜す!



そんな経験をさせて頂いたおかげ?で、菊水山からの下りや、鍋蓋山への登りは、厳しくも大変楽しい?(負け惜しみではありません!!) 初めての縦走路走破でした!!

先輩の皆様、有難うございました。



鍋蓋山にて（ハッピーな新人3人で〜す！）

・—・—・—・—・—・—・—

②・2月14日（日）縦走トレ・妙法寺〜高取へ
六甲全山縦走など、考えもしなかった私達3人組ですが、僅か一ヶ月余りの間に、中堅の登山家さんが経験する様な貴重な体験をさせて頂きました。

そして今度は、あこがれの須磨アルプス走破を経験する機会を設けて下さいました。

地下鉄妙法寺駅集合。今回も又、7名の先輩ニューサークルメンバーさんと吉野会長同行です！



横尾のじぎくの丘にて（ここからイッキ登り？）

横尾山から始まる須磨アルプスは、六甲縦走路中の一番の景勝地であり、且つ注意を要する場所でもあると、写真などでは見たことはありますが、体験は初めて！！・・・はやる気持ちで改札口を出ました。・・・縦走路への最短距離は横尾のじぎくの丘という場所から一気に登る岩の尾根コースでした！！山の斜面一帯に植えられたノジギクは、その季節になったら素晴らしいだろうな〜と思う間も無く出発の合図！！・・・汗かき、ベそかき・・・登るにつれ淡路島をつないでいる大橋の景色

が、まるで絵画の大作のように見えました！！・・・縦走路へ飛び出し、少し登った所が横尾山山頂でした。



横尾山山頂にて

「ここからは気を引き締めて、慌てず、しっかり歩こう！」との会長の叱咤激励？・・・の合図に、「さ〜いよいよ来たか！！」と気合が入って・・・でも、やっぱり心細いな〜・・・」。

ところが、鎖の付いた下りを過ぎて、アルプスの全体が見渡せる場所に降りてくると、不思議と恐怖感は無く、上り下りも快適に通過することが出来ました！！



憧れの須磨アルプス中心地・馬の背にて

後で自分なりに理解したのは、あのノジギクの丘からの岩尾根をいきなり登らせたのは、多分、高度感や足元の注意箇所などに慣らすための会長の戦略？？だったのでしょね！！・・・高取山の中の茶屋のテラスで、須磨アルプス踏破記念？？の打ち上げ？は、身体も心もコロナ禍を吹っ飛ばす最高のものでした！！

会長様、先輩の皆様、感謝感激です！！